

全
広
連

二〇二一年六月二十五日発行／奇数月一回五日発行／通巻一〇九四号／昭和三十九年二月十二日第三種郵便物認可
発行／公益社団法人全日本広告連盟 〒一〇四・〇〇六一 東京都中央区銀座七丁目四番十七号 電通銀座ビル七F

電話〇三・三五六九・三五六六
定価四五〇円（購読料は金費を含む）
www.ad-zenkoren.org

広告の元気は、ニッポンの元気。

全広連

Special Report

第69回 全日本広告連盟 山陰大会



島根県／全広連山陰大会で披露された石見神楽。神楽を舞うことが島根県西部・石見地方の若者にとっては故郷に帰る動機にもなっている（2021年5月20日）



公益社団法人
全日本広告連盟
JAPAN ADVERTISING FEDERATION

www.ad-zenkoren.org

「大会を終えて」



第69回全日本広告連盟山陰大会
組織委員会 会長

松尾 倫男

山陰地方で初めての開催となった第69回全日本広告連盟山陰大会は「ヤオヨロズの英知でつくる広告新話～山の陰から創造の光を～」というテーマのもと、118人の現地参加、500人を超えるオンライン参加をいただき、おかげさまで無事に終えることができました。皆様のご協力、ご支援に心より感謝申し上げます。

私どもはコロナ禍にあっても、リアルな開催にこだわりました。この困難な状況だからこそ、感染対策に万全を期した上で、全国の仲間が顔をつきあわせ、未来や社会に何を発信するかを話し合うことが、広告に携わるものに不可欠だと考えたからです。昨年、断腸の思いで現地開催を見送り、ネット配信のみで開催されたふくしま大会の関係者の意思を引き継ぎたいとの強い思いもございました。

ただ、変異株の感染拡大により、開催1カ月前に大幅な計画見直しを余儀なくされました。緊急事態宣言地域からの参加を控えていただくなどのルールを設けました。全広連大会では初めて実施する分科会は、当初は8分科会を予定しましたが、現地開催を1分科会に絞り、2分科会を収録配信に変更しました。急な変更で、皆様には多大なご迷惑をおかけしましたこと、改めてお詫び申し上げます。

本大会は、出雲市出身のオペラ歌手、錦織健氏がイギリスのロックバンド・クイーンの名曲メドレーを披露し、幕を開けました。パネルディスカッションは、日本総合研究所主席研究員の藻谷浩介氏、東京からオンライン参加した小西美術工芸社社長のデービッド・アトキンソン氏、電通グループ執行役員の樋口景一氏に「持続可能な地域社会のカタチ～いまこそ語りたい日本の『根本問題』～」をテーマに議論していただき、生産性向上と東京一極集中の是正に対する広告の役割を提言していただきました。トークショーは、鳥取市出身の漫画家・故谷口ジロー氏と漫画「孤独のグルメ」を手掛けた原作者の久住昌之氏に「孤独のグルメ山陰篇」と題して、身近にある食の価値を語っていただきました。

山陰大会の成果としてウイズコロナ、ポストコロナの社会に対応した地方のありかた、日本の進路をリードする広告のヒントが提供できたのであれば幸いです。

最後になりましたが、多大なるご厚情、ご激励を賜りました関係の皆様を重ねて感謝申し上げます。また、どこかでお会いできるのを楽しみにしております。広告で新しい社会を切り開いていきましょう。

広告の元気は、ニッポンの元気。

全広連

Vol.1094

2021

7

CONTENTS

- | | | |
|----|----------------|------------------------------|
| 2 | Special Report | 第69回全日本広告連盟山陰大会開く |
| 5 | 大会祝賀 | 【山陰大会 祝賀広告】 |
| 8 | 次回大会案内 | 来年は沖縄へ
第70回全日本広告連盟沖縄大会ご案内 |
| 10 | | 通常総会・理事会報告 |
| 11 | | 各地広告協会の動き
(静岡県・横浜) |
| 12 | | CLIP BOARD |

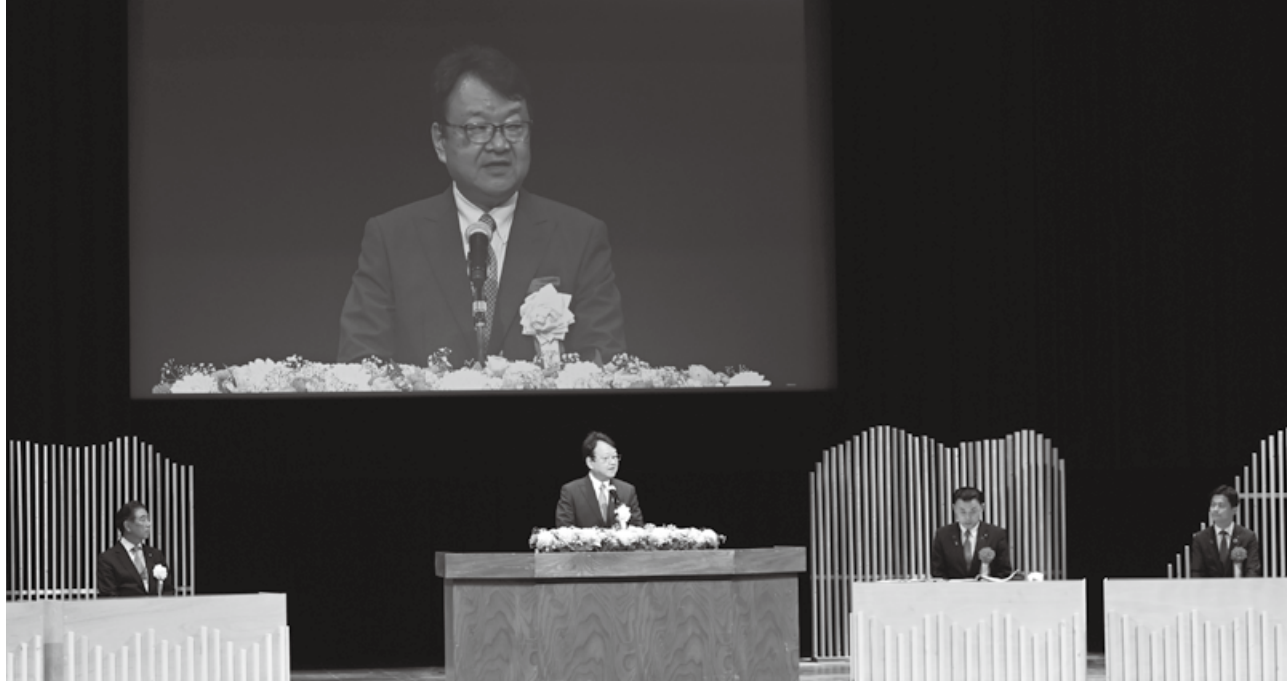
Cover Photo & Off Shot



島根県 石見神楽
2021年5月20日 山陰中央新報社撮影(山陰広告協会協力)

石見神楽は、室町時代には島根県石見地方を中心に舞われていたという。農耕神的なものとして村々に祀られる「大元神(おおもとがみ)」を信仰した田楽系の行事が原型と言われ、「神事」と「演芸」の要素を兼ね備える。明快なストーリーや、爽快、勇壮な舞、軽快なお囃子が見るものを魅了する。「神楽をやりたいから古里に帰りたい」と言う若者がいるほど人々の生活に溶け込み、石見地方には約130もの社中がある。奇しくも山陰大会の2年前、2019年5月20日に日本遺産に認定され、これまで以上に郷土が誇る郷土と、それを担う人材を未来に引き継ぐ機運が生まれている。第69回全日本広告連盟山陰大会では、浜田市の長澤社中が、スサノオノミコトの八岐大蛇(たまたのおろち)退治を題材にした「大蛇」を熱演した。

大会テーマ 『ヤオヨロズの英知でつくる広告新話～山の陰から創造の光を～』
第69回全日本広告連盟山陰大会開く



第69回全日本広告連盟山陰大会（主催：同大会組織委員会、（公社）全日本広告連盟）が、大会テーマ『ヤオヨロズの英知でつくる広告新話～山の陰から創造の光を～』のもと、5月20日、松江市の島根県民会館で開かれた。大会参加者及びスタッフにPCR検査を義務付けるなど新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、118名の現地参加、500名以上のオンライン参加があった。



会場の受付風景

午前中には、全広連大会初めての試みとして分科会が開催され、寺本英仁氏（島根県邑南町役場商工観光課長）と西原史郎氏（㈱ぐるなびプロモーション事業部

食と観光企画部長）が『地方創生＝地域資源を生かした「食」で町おこし』のテーマで対談、オンラインでライブ配信も行った。



「食による町おこし」をテーマにした分科会

また事前収録された佐藤雅彦氏（東京藝術大学大学院教授、クリエイティブディレクター）と高崎卓馬氏（クリエイティブディレクター）による「クリエイティビティ＝新しい分かり方、伝え方」、田中道昭氏（立教大学ビジネススクール教授）による「地域メディア・広告業のDX戦略策定ワークショップ」の2分科会がオンライン配信された。



佐藤雅彦氏（左）、高崎卓馬氏がクリエイティビティの可能性を語った



田中道昭氏が地域メディアのDXを展望



錦織 健氏

昼食をはさみ、大会式典が開演。オープニングアトラクションでは出雲市出身のオペラ歌手・錦織健氏が力強い歌声を披露した。

真鍋和彦全広連山陰大会副会長が開会宣言を行った後、松尾倫男大会会長が、「今年のネット配信のみで実施されたふくしま大会の思いを引き継ぎ新しい形での開催を模索してきた。本大会をクリエイティブの面白さ、力強い世界観をもった広告が新しい社会を切り開ききっかけにしたい」と歓迎挨拶を行った。



松尾大会会長による歓迎挨拶

続いて、大平明全広連理事長が登壇。「厳しい情勢の中、大会開催に向けて準備を重ねてこられた関係者の皆様に御礼申し上げたい。山陰の地での議論で湧き出た知恵を発信し、全国各地の参加者に共有すれば有意義な大会になると信じている。全広連は、引き続き『広告の元気は、ニッポンの元気。』をスローガンに掲げ、各種事業に取り組んでまいりたい。」と大会挨拶を行った。



大平全広連理事長による大会挨拶

来賓の丸山達也島根県知事、平井伸治鳥取県知事がそれぞれ祝辞を述べた。

「第15回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞」が新潟日報社「にいがた 希望の花火」打ち上げプロジェクトに贈られ、畑川克久氏（同社・統合推進センター部長代理）が謝辞を述べた。同選考委員会特別賞は、山陰中央新報社「Think local.」に贈られ、壺倉真司氏（同社・取締役ビジネスプロデュース局長）が登壇した。



全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞受賞者（左から大平理事長、新潟日報社・畑川氏、山陰中央新報社・壺倉氏）

「第15回全広連地域クリエイティブ大賞」最優秀賞は島根県「早く会いたいけん、今は帰らんでいいけんね。早く会いたいけえ、今は帰らんでいいけえね。」に贈られ、丸山島根県知事が謝辞を述べた。同優秀賞はオリックス不動産「京都水族館 リニューアル広告『変態完了』」に贈られた。



謝辞を述べる丸山島根県知事



全広連鈴木三郎助賞関係の作品展示風景

「第9回全広連日本宣伝賞」各賞の贈賞式では、松下賞が井上眞氏(大塚製薬(株)代表取締役社長)、正力賞が増田宗昭氏(カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)代表取締役社長兼CEO)、吉田賞が藤重貞慶氏((公社)ACジャパン理事長、(公社)日本マーケティング協会会長、(公財)日本卓球協会会長、ライオン(株)特別顧問)、山名賞が佐藤雅彦氏(東京藝術大学大学院教授、クリエイティブディレクター)へ贈られ、各受賞者のビデオメッセージが紹介された。



井上眞氏、増田宗昭氏、藤重貞慶氏、佐藤雅彦氏

パネルディスカッションは「持続可能な地域社会のカタチ〜いまこそ語りたい日本の『根本問題』」をテーマに開かれ、藻谷浩介氏(株)日本総合研究所主席研究員)は現地にて登壇、デービッド・アトキンソン氏(株)小西美術工芸社代表取締役社長)、樋口景一氏(株)電通グループ電通ジャパンネットワーク執行役員)の両氏はオンラインで出演し、地域課題解決への方策などについて意見交換を行った。



パネルディスカッションで地域社会の未来について意見交換

続いて、「孤独のグルメ」原作者の久住昌之氏(マンガ家・ミュージシャン)が「孤独のグルメ山陰篇」のテーマでトークショーを行い、自身の食へのこだわりを語った。

最後に、来年5月の第70回全広連沖縄大会開催に向けて石嶺伝一郎沖縄大会会長の挨拶を玻名城泰山副会長が代読し大会への参加を呼び掛けた。松尾山陰大会会長から縁起物の「打ち出の小槌」が贈られ、式典は閉会となった。

閉会后、会場内で、特別プログラムとして浜田市の長澤社中による石見神楽が披露された(表紙参照)。



久住昌之氏によるトークショー



会場内に設けられた沖縄大会PRブース



松尾山陰大会会長から玻名城沖縄大会副会長に「打ち出の小槌」が贈られた

夜の歓迎食事はホテル一畑にて、酒類の提供は行わず、着席、黙食スタイルでの実施となった。

翌日は視察・見学会と懇親ゴルフ会を実施。視察・見学会は「出雲大社・石見銀山コース」「たたら製鉄・奥出雲コース」「鳥取砂丘コース」の3コースが実施され、鳥根、鳥取両県の文化・歴史、自然などを体感した。懇親ゴルフ会は、大山平原ゴルフクラブにおいて行われた。

ヤオヨロズの英知でつくる広告新話 ～山の陰から創造の光を～

〈順不同〉

Eat Well, Live Well. Ajinomoto 東京都中央区京橋1-15-1	よろこびがつなぐ世界へ 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス	山陰信販株式会社 米子市東福原2-1-1
Pasco 敷島製パン株式会社 名古屋市東区白壁5-3	セイコーウオッチ株式会社 東京都中央区銀座1-26-1	第一三共ヘルスケア 東京都中央区日本橋3-14-10
大正製薬株式会社 東京都豊島区高田3-24-1	タマホーム 東京都港区高輪3-22-9 タマホーム本社ビル	enetopia 鳥取ガス株式会社 / 鳥取ガス産業株式会社 鳥取市五反田町6
この街に、あってよかった。 FUJI 松山市宮西1-2-1	株式会社マन्दム 東京都港区南青山5-1-3 TS青山ビル	吉本興業ホールディングス 大阪府中央区難波千日前11-6 東京都新宿区新宿5-18-21
朝日新聞社 東京都中央区築地5-3-2	産経新聞社 東京都千代田区大手町1-7-2	日本経済新聞社 東京都千代田区大手町1-3-7
毎日新聞 東京都千代田区一ツ橋1-1-1	読売新聞 YOMIURI BRAND STUDIO 東京都千代田区大手町1-7-1	中日新聞社 本社 名古屋市中区三の丸1-6-1 東京本社 東京都千代田区内幸町2-1-4
北海道新聞社 札幌市中央区大通西3丁目6	西日本新聞社 本社 福岡市中央区天神1-4-1 北九州本社 北九州市小倉北区堺町1-2-16	東奥日報社 青森市第二問屋町3-1-89
岩手日報社 盛岡市内丸3-7	河北新報社 仙台市青葉区五橋1-2-28	秋田新報 秋田市山王臨海町1-1
福島民報社 福島市太田町13-17	福島民友新聞社 福島市柳町4-29	神奈川新聞社 横浜市中区太田町2-23
新潟日報社 新潟市中央区万代3-1-1	信濃毎日新聞 長野市南県町657	北日本新聞社 富山市安住町2-14

ヤオヨロズの英知でつくる広告新話 ～山の陰から創造の光を～

〈順不同〉

北國新聞社 金沢市南町2-1	福井新聞社 福井市大和田2-801	岐阜新聞 岐阜市今小町10
神戸新聞社 神戸市中央区東川崎町1-5-7	山陰中央新報社 松江市殿町383	山陽新聞社 岡山市北区柳町2-1-1
中國新聞社 広島市中区土橋町7-1	徳島新聞社 徳島市中徳島町2-5-2	愛媛新聞社 松山市大手町1-12-1
高知新聞 The Kochi Shimbun 高知市本町3-2-15	沖縄タイムス社 那覇市久茂地2-2-2	琉球新報社 那覇市泉崎1-10-3
言葉と、生きていく。 SEIKYOSHIMBUN 東京都新宿区信濃町7	株式会社 講談社 東京都文京区音羽2-12-21	株式会社 小学館 東京都千代田区一ツ橋2-3-1
中央公論事業出版 東京都千代田区神田神保町1-10-1 IVYビル	TBS 東京都港区赤坂5-3-6	tv asahi 朝日テレビ 東京都港区六本木6-9-1
TV TOKYO 7 テレビ東京 東京都港区六本木3-2-1	BS-TBS 東京都港区赤坂5-3-6 TBS放送センター	ABS朝日 5 BS朝日 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
BSテレ東 7ch 東京都港区六本木3-2-1	BSフジ 4K 東京都港区台場2-4-8 フジテレビメディアタワー	Tokyofm Life time audio 80.0 東京都千代田区麹町1-7
FBC 福井放送 福井市大和田2-510	CBCテレビ 名古屋市中区新栄1-2-8	CBCラジオ 名古屋市中区新栄1-2-8
mbs 毎日放送 大阪府北区茶屋町17-1	ytv 読売テレビ 大阪府中央区城見1-3-50	8カンテレ 大阪府北区扇町2-1-7

広告の元気は、ニッポンの元気。

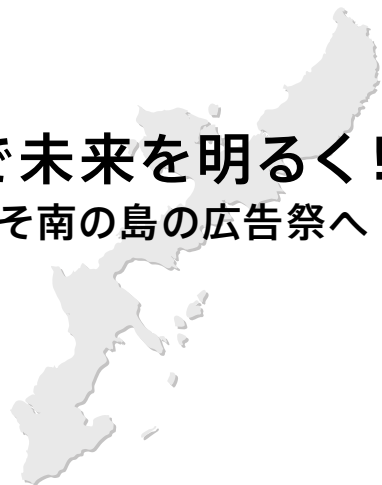
〈順不同〉

rkbrkb RKB毎日放送 福岡市早良区百道浜2-3-8	KBC地域共創プロジェクト ふるさとWish 九州朝日放送 福岡市中央区長浜1-1-1	つながるここから ロックに。自由。TNC 福岡市早良区百道浜2-3-2
FBS福岡放送 福岡市中央区清川2-22-8	ADK 東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー	株式会社 オリコム 東京都港区新橋1-11-7 新橋センタープレイス
株式会社 京橋エイジェンシー 東京都千代田区外神田5-4-4	株式会社 ジェイアール東日本企画 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5	株式会社 新東通信 名古屋市中区丸の内3-16-29
株式会社 大 広 東京都港区芝2-14-5	TBWA\HAKUHODO 東京都港区芝浦1-13-10 第三東運ビル	株式会社 電通グループ 東京都港区東新橋1-8-1
株式会社 電通東日本 東京都港区新橋4-21-3	株式会社 東急エージェンシー 東京都港区赤坂4-8-18	株式会社 とうこう・あい 東京都中央区銀座7-13-12
株式会社 日本経済広告社 東京都千代田区神田小川町2-10	株式会社 博報堂DYホールディングス 東京都港区赤坂5-3-1	株式会社 博 報 堂 東京都港区赤坂5-3-1
株式会社 博報堂DYメディアパートナーズ 東京都港区赤坂5-3-1	株式会社 博報堂プロダクツ 東京都江東区豊洲5-6-15 NBF豊洲ガーデンフロント	Metro Ad Metro Ad Agency 東京都港区西新橋1-6-21 NBF虎ノ門ビル
株式会社 読売広告社 東京都港区赤坂5-2-20	株式会社 読売連合広告社 大阪府北区野崎町5-9	TSKインタープライズ 松江市向島町140-1
株式会社 電 通 テック 東京都千代田区内幸町1-5-3 新幸橋ビル	株式会社 東北新社 東京都港区赤坂4-8-10	凸版印刷株式会社 東京都文京区水道1-3-3

来年は沖縄へ 第70回全日本広告連盟沖縄大会ご案内

大会テーマ

広告で未来を明るく！
～ようこそ南の島の広告祭へ～



第70回 全広連沖縄大会事務局

沖縄が27年間の米軍統治から本土に復帰したのは1972年でした。来年はそれから50年。その記念すべき年に、こちらも節目となる第70回の全日本広告連盟沖縄大会が開かれます。

米軍統治下にあった沖縄は、知事に相当する「琉球政府主席」も米軍の任命制で、住民自ら投票で選ぶことができないなど、苦難の道を歩みました。住民による運動が展開され、ようやく得られた本土復帰です。それから50年、沖縄は大きく発展しました。

1975年には沖縄海洋博覧会が開かれ、沖縄の海が認知され始めます。1992年の復帰20周年には首里城が復元しました。戦後50年の95年には沖縄戦の激戦地に「平和の礎」が完成し、地元住民ばかりでなく日米両軍の兵士たちも敵味方なく刻名し、平和への思いを発信する拠点となりました。

90年代後半には安室奈美恵やSPEEDなど多くの人気芸能人を輩出し、注目を集めます。2000年には沖縄サミットが開かれ、世界のトップリーダーがここに集いました。2001年にはNHKの連続テレビ小説「ちゅらさん」が人気を博し、沖縄ブームの様相を呈します。返還された米軍基地跡地のいくつかが新たな街として発展し、2003年には沖縄都市モノレール「ゆいレール」も開通しました。その後、インバウンド需要も取り込み、

東アジア有数の海洋リゾート、「癒しの島」として一大観光地となったのはご承知の通りです。

来年の全広連沖縄大会は2022年5月19、20日の両日、沖縄市を主会場に開催いたします。復帰20周年だった1992年以来、30年ぶりの沖縄開催となります。前述のような沖縄の発展ぶりをご覧いただきながら、明るく開放的な南の島で、広告の未来を闊達に議論したいと企画されました。大会テーマ「OKINAWA2022 広告で未来を明るく！～ようこそ南の島の広告祭へ」にはそのような思いが込められています。

大会のロゴマークは、沖縄独自の赤瓦にも通じる赤を基調とし、沖縄のシンボルであるシーサーを図案化しました。飛び跳ねるかのような躍動的なデザインは、活気あふれる広告の未来を示しています。

ご承知のように、新型コロナウイルス感染症は日本経済に大きなダメージを与えました。とりわけ経済における観光の比重の高い沖縄は、インバウンド需要が蒸発したことで深刻な影響を受けています。大会テーマは、こうした状況の中、未来を切り開く大会にしたいという沖縄の切実な願いも込めています。

第69回全広連山陰大会では、次回開催地案内の場面で空手家・清水由佳さんが登壇し、迫力ある演武を披露して沖縄の空手文化を紹介しました。その後、



沖縄本島近くの渡嘉敷島の美しい海

沖縄大会の石嶺伝一郎会長のあいさつを玻名城泰山沖縄大会副会長が代読。松尾倫男山陰大会会長から「福を招く」とされる縁起物の「打ち出の小槌」をバトンリレーで受け取り、気を引き締めたところです。



全広連山陰大会で迫力ある演武を披露し、沖縄文化をPRする空手家の清水由佳さん(山陰中央新報社提供)

コロナは人々の暮らしや仕事のあり方を世界規模で激変させておりますが、全国の広告関係者が一堂に会し、この状況に対応して広告がどこに向かうかを議論することは、とりもなおさず新時代の広告のあり方をも展望する意義があると考えます。

式典会場となる沖縄アリーナは那覇の北、約24キロの沖縄市にあり、1万人を収容できる規模としては沖縄初の大型施設となります。大会参加者のみなさまには、2021年6月に本格稼働するこの新たな施設の魅力も併せて体感していただきたいと存じます。

式典翌日の視察・見学は世界有数の大型水槽を備える沖縄美ら海水族館や前述の「平和の礎」をめぐるコースなどを設定する予定です。残念ながら首里城は焼失してしまいましたが、世界文化遺産の「琉球王国のグスク群」として他の八つのグスク(城)・関連遺跡はお楽しみいただけるはずです。また、沖縄本島北部「やんばる」

地域の豊かな自然も、西表島や鹿児島県の奄美地方とともに今夏には世界自然遺産に正式決定する見込みです。ちょっと足を延ばして、沖縄本島周辺の離島への1泊コースも見学コースに加えるか検討しています。ゴルフ会も設ける予定です。

沖縄には石垣牛やアグー豚など魅力ある食材や琉球王朝料理に代表される独特の食文化があります。独特の風土に育まれた伝統文化・芸能が脈々と息づく土地でもあります。みなさまには大会へのご参加と併せ、これらも大いにお楽しみいただきたいと存じます。

来年5月の沖縄大会のころにはコロナ禍を脱し、全国から心おきなくご参加いただける状況になっていると思います。多くの方のご参加を心より願っています。



世界有数の大型水槽を備える沖縄美ら海水族館



世界文化遺産「琉球王国のグスク群」の一つ・勝連城跡

通常総会・理事会報告

松江で第69回通常総会開く 令和2年度決算などを承認

第69回通常総会を、全広連山陰大会前日の5月19日、松江市のホテル一畑で、正会員総数37広告協会のうち、正会員代表者9名が出席、27名から委任状を受けて開催した。

はじめに大平明全広連理事長が、「山陰大会に向けて精力的にご準備いただいたご関係の皆様のご尽力に感謝申し上げます。加盟37広告協会の皆様と連携を深め、広告の力で地域から日本を元気にしていきたい。」と開会挨拶。定足数の充足を確認したあと大平理事長が議長席につき、議事録署名人を選任し、議事に入った。

長崎之保筆頭執行理事による司会進行のもと、第1号議案・令和2年度決算書類承認の件、第2号議案・理事選任の件、第3号議案・「定款」一部変更の件、第4号議案・「会員及び会費に関する規程」一部改正の件について、それぞれ審議し委任出席含め満場異議なく承認した。



総会で令和2年度決算などを承認

【第69回通常総会議題】

- 第1号 「総会運営規則」一部改正の内容報告の件
- 第2号 令和2年度事業報告の内容報告の件
- 第3号 令和2年度決算書類承認の件（第1号議案）
監査報告
- 第4号 理事選任の件（第2号議案）
- 第5号 「定款」一部変更の件（第3号議案）
- 第6号 「会員及び会費に関する規程」一部改正の件（第4号議案）
- 第7号 令和3年度事業計画及び収支予算の内容報告の件

この他、令和2年度事業の内容など、主に3月10日および4月20日の理事会で決定した事項について報告を行った。また、昨年の第68回全広連ふくしま大会開催の成功と、結果生じた剰余金の全広連への寄付に対し、福島広告協会へ感謝の意を表し感謝状を授与、同協会の高橋雅行会長兼理事長が代表して受領し、謝辞を述べた。以上で本総会は閉会した。



大平理事長(左)と高橋雅行福島広告協会会長兼理事長

引き続き、同総会に出席した理事・監事は別室に移動し、ZOOMを用いて令和3年度第2回理事会をオンライン開催し、副理事長に石嶺伝一郎氏、筆頭執行理事に田中洋志氏を選定した。終了後、総会にて、新たに就任した田中筆頭執行理事より本理事会の結果報告を行った。

最後に、松尾倫男全広連山陰大会会長より翌日からの山陰大会開催にあたって挨拶と、同大会事務局からの連絡事項の説明があり、すべてを終了した。

- 第8号 「事務局業務委託契約書」一部改正及び再締結報告の件
- 第9号 第70回（令和4年度）全広連大会の概要報告の件
- 第10号 第15回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞
受賞者報告の件
- 第11号 第15回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞
受賞者報告の件
- 第12号 第9回全広連日本宣伝賞受賞者報告の件
- 第13号 「全広連永年勤続表彰」贈呈の件

各地広告協会の動き

静岡県 静岡県広告協会 コミュニケーション・ディレクターの 佐藤氏が講演

静岡県広告協会は3月18日、静岡市の静岡商工会議所ホールで2020年度広告研究会を開催した。「ファンベースがどんどん大切になる理由」と題し、(株)ツナグ代表の佐藤尚之氏が講演した。

佐藤氏はインターネットの普及により情報量が爆発的に増え、企業が伝えたい情報を消費者に届けるのが難しい時代になっていることを指摘した。そして2割のファンが売り上げの8割を支える「パレートの法則」に触れ、ブランドや商品価値を認めてくれるファンの重要性を説いた。ファンミーティングでファンの声に耳を傾け、正面から誠実に付き合うことが自社の強みを伸ばす。絆を深めることでファンは更に購買意欲を高めてくれるだけでなく、熱意をもって家族や友人に商品の良さをアピールし新規顧客を増やしてくれる存在にもなる。これからのマーケティングにはこうしたファンを大切にする

「ファンベース」の視点が必要であることを述べた。



佐藤氏がファンベース視点の必要性を説いた

講演会には会員36名が参加し、佐藤氏から次々と繰り出される事例と提言を熱心に聞き入った。

横浜 横浜広告協会 総会と記念講演会開く

2021（令和3）年度の横浜広告協会会員総会と記念講演会を6月4日、横浜市西区の崎陽軒本店で開催した。

総会は、59社91名（6月1日現在）の加盟会員数のうち、37社59名が出席。2020（令和2）年度の活動報告と収支報告、2021（令和3）年度の事業計画案と予算案について、いずれの議案も可決、承認された。

総会に引き続き行われた記念講演会は、講師に電通4CRプランニング局フューチャークリエイティブセンター、クリエイティブディレクターの志村和広氏をお招きした。志村氏には、「Seed Creativity for Business Innovation」～クリエイティブの可能性拡張～と題しておおよそ1時間、広告の未来像について語っていただいた。



電通・志村氏の講演の様子

コロナ感染防止措置として、会場内ではマスクの着用を義務付ける一方、会場は例年の2倍のスペースを用意し、席間隔を広くとった。また、恒例となっている飲食を伴う懇親会は中止し、弁当を持ち帰ってもらうなどのコロナ対策を講じたことで、一堂に会して総会を実現できた。

全広連新役員一覧（敬称略・順不同、令和3年5月19日現在）

※は新任

理事長	大平 明	(公社)東京広告協会理事長
副理事長	松尾倫男	山陰広告協会会長
	石嶺伝一郎	沖縄広告協会会長※
筆頭執行理事	田中洋志	(公社)東京広告協会専務理事※
執行理事	中井良博	(公社)東京広告協会常務理事・事務局長
理事	鹿又久孝	仙台広告協会事務局長
	片上 崇	(公社)東京広告協会理事
	西川 新	山梨広告協会専務理事

理事	田中正樹	(一社)愛知広告協会理事長
	井手良昭	(公社)大阪広告協会専務理事
	橘高知樹	広島広告協会理事長
	山中 総	徳島広告協会理事
	西山治宏	福岡広告協会理事長
監事	阿部龍二郎	(公社)東京広告協会
	石村泰利	静岡県広告協会事務局長



INFORMATION

第32回 (令和3年度)全広連夏期広告大学/第14回 (令和3年度)全広連秋のシンポジウム

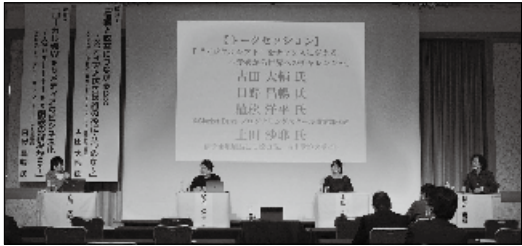
第32回(令和3年度)全広連夏期広告大学および第14回 (令和3年度) 全広連秋のシンポジウムは、公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団の協賛により、全広連と下記5地区の開催地広告協会との共催により開催される。

【主 催】公益社団法人 全日本広告連盟、開催地広告協会

【協 賛】公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団

開催地	夏期広告大学	秋のシンポジウム
	- 青森市 (青森広告協会) - 新潟市 (新潟広告協会) - 岡山市 (岡山広告協会)	- 静岡市 (静岡県広告協会) - 京都市 (京都広告協会)

※開催日、テーマは調整中



昨年度全広連夏期広告大学の様子 (松山市)

加盟各地広告協会 人事 [順不同・敬称略]

会長就任	〔福井広告協会〕 〔静岡県広告協会〕	八木誠一郎 (福井商工会議所連合会会頭・福井商工会議所会頭) 6月8日付 大須賀紳晃 (株静岡新聞社代表取締役社長) 6月15日付
理事長就任	〔岩手広告協会〕 〔秋田広告協会〕 〔沖縄広告協会〕	川村公司 (株岩手日報社常務取締役執行役員広告事業局長) 4月1日付 加藤卓哉 (株秋田魁新報社取締役) 5月6日付 安仁屋聡 (琉球放送株常務取締役ラジオ本部長) 6月9日付
事務局長就任	〔沖縄広告協会〕	仲里秀樹 (琉球放送株ラジオ局次長兼営業部長) 6月9日付

全広連「賛助会員」のご案内

全広連では、加盟37地域広告協会の「正会員 (37)」に加えて、本連盟の事業に賛同して特にその事業に協力する個人、法人又は団体による「賛助会員」 (年会費として、一口12万円) を募集しております。なお、この他にも、全広連の団体運営や事業活動へのご支援のためのご寄付や、個別の公益目的事業へのご協賛などにつきましても随時受付けております。あたたかいご支援のほどお願い申し上げます。

【お問合せ】 公益社団法人全日本広告連盟 TEL : 03-3569-3566

公益社団法人 全日本広告連盟 加盟37広告協会					全広連は、下記37広告協会の会員の皆様にお送りしています。				
全北海道広告協会	秋田広告協会	東京広告協会	山梨広告協会	岐阜広告協会	大阪広告協会	広島広告協会	高知広告協会	熊本広告協会	沖縄広告協会
青森広告協会	山形広告協会	横浜広告協会	富山広告協会	静岡県広告協会	神戸広告協会	徳島広告協会	福岡広告協会	大分広告協会	
岩手広告協会	福島広告協会	新潟広告協会	金沢広告協会	愛知広告協会	山陰広告協会	香川広告協会	佐賀広告協会	宮崎広告協会	
仙台広告協会	千葉広告協会	長野県広告協会	福井広告協会	京都広告協会	岡山広告協会	愛媛広告協会	長崎広告協会	鹿児島広告協会	

全広連の活動について詳しくはウェブサイトから ▶ www.ad-zenkoren.org